

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2026年日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定によって行う。

2. 競技者の招集について

(1) **競技者招集所は雨天練習場**とする。

(2) 招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
(棒高跳)	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
(フィールド四種競技)	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前

(3) 招集の手順

①**競技者は招集開始時刻までに雨天練習場に集合し点呼を受ける。**その際、アスリートビブス・スパイクピンの長さ(走高跳は12mm以下、その他は9mm以下)・衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受ける。

②2種目に出場し、競技時間や招集時間がかさなっている場合は、あらかじめ本人が多種目同時出場届を競技者係に届け出ること。その際、ユニフォーム・スパイク・アスリートビブス・(トラック400mまでの選手はアスリートビブス(腰))を持参すること。多種目同時出場届は兵庫県中学校体育連盟陸上競技部HPからプリントアウトしたものを利用する。

③招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。

④四種競技出場者の招集については以下の要領で行う。

＊トラック種目：(3)の①に従って、競技者係による点呼を受ける。

＊フィールド種目：招集開始時刻に現地に集合し点呼を受ける。

⑤**リレーの各走者は予選・決勝ともに雨天練習場で4人そろって点呼を受けること。**ただし、他種目とかさなるなどのため、点呼が受けられない場合は、(3)②に従いその旨を事前に申し出て許可をえておくこと。

⑥競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに競技者がその旨を競技者係に申し出ること。

四種競技出場者が途中で棄権する場合は、競技者が審判長に申し出ること。 [TR39.10]

⑦審判長がやむを得ないと判断した場合に限りフィールド競技について競技順を変更して出場することができる。 [TR4.3]

3. 競技運営について

(1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、スタートリスト記載の番号で示す。

(2) **トラック種目男女800m、1500m、男子3000mはすべてタイムレース決勝で行う。**

(3) トラック競技で、タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合、同記録者が出たときは、レーン数が充足する場合は9レーンを用いて次のラウンドを行う。レーン数が不足する場合は、同記録の写真をより細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決められない場合は抽選とする。 [TR21.5]

(4) トラック競技のスタートにおいて、「On your marks (位置について)」あるいは「Set (用意)」の合図の後、ある競技者が音声その他の方法で、他の競技者をじゃまするよう場合は不適切行為とみなす。 [TR16.5.3]

(5) スタートについては、「イングリッシュコマンドとし、1回目に不正スタートした者を失格」とする。

尚、混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。 [TR16.8]

(6) スタートにおける不適切行為は、TR16.5を適用せず注意にとどめる。

(7) リレーチームの編成メンバーは、予選・決勝ともに、リレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。ただし、少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者であること。 [TR24.10]

(8) リレーチームの編成(オーダー用紙提出)は、予選・決勝ともに第1組の招集完了時刻の1時間前までに記録室に提出する。 [TR24.12]

(9) リレー競技を行う場合、競技者は大きさが最大50mm×400mmで他の恒久的なマーキングと混同しないようなはっきりとした色の粘着テープをマーカーとして1カ所、自らのレーン内に貼ることが許される。 [TR24.4]

(10) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。

- (11) 競技者に対する助力については、TR6.2を適用するので十分に気をつけること。
- (12) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (13) 助走路が使われるフィールド競技のマーカ―は、2個まで置くことができる。このようなマーカ―が準備されない場合は、粘着テープを使用してもよい。〔TR25.3.1〕
- (14) サークルから行うフィールド競技では、マーカ―を1つだけ使用することができる。〔TR25.3.3〕

※3.(9) および(13)の粘着テープについて、本大会では養生テープを使用すること。

4. TR5競技用靴の対応について

本大会はTR5.2 (TR 5 : シューズ) を適応する。

5. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、ユニホームの胸背部に確実に結着すること。跳躍競技者は、胸または背につけるだけでもよい。アスリートビブスはプログラムに記載のものと同じ番号でなければならない。〔TR5.7〕
- (2) **アスリートビブス(腰)はトラック競技の400mまでは選手が用意する。800m以上は主催者が用意する。**
トラック競技出場者は、アスリートビブス(腰)をランニングパンツ右側上部やや後方につける。

6. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種 目	性 別	練習	競 技			
走 高 跳	男 子	1m30	1m35 ～ 1m60	5 cm ずつ	1m60 以上	3 cm ずつ
	女 子	1m20	1m25 ～ 1m40	5 cm ずつ	1m40 以上	3 cm ずつ
棒 高 跳	男 子	2m10	2m20 ～ 3m00	20 cm ずつ	3m00 以上	10 cm ずつ
	女 子	1m70	1m80 ～ 2m20	20 cm ずつ	2m30 以上	10 cm ずつ
四 種 競 技 (走高跳)	男 子	1m25	1m30 ～ 1m55	5 cm ずつ	1m55 以上	3 cm ずつ
	女 子	1m10	1m15 ～ 1m40	5 cm ずつ	1m40 以上	3 cm ずつ

①走高跳の決勝で、最後の1人になり優勝が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。

②第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳は2 cmきざみ、棒高跳は5 cmとする。〔TR26.9.4〕

7. フィールド種目における計測標準記録について

フィールド競技の決勝において、次の記録に達しない場合は計測しないことがある。

種 目	性 別	計 測 ラ イ ン
走 幅 跳	男 子	4 m 8 0
	女 子	4 m 0 0
三 段 跳	男 子	1 0 m 0 0
砲 丸 投	男 子	7 m 0 0
	女 子	7 m 5 0
円 盤 投	男 子	1 7 m 0 0
	女 子	1 6 m 0 0

8. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んで서는ならない。

9. 表彰について

- (1) 入賞者の得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
ただし、競技者が8人に満たない場合は、出場人数に応じて得点を与える。
例：競技者が5人の場合、1位5点、2位4点・・・5位1点とする。
- (2) 男女総合、男子総合、女子総合優勝校(団体)に、それぞれ表彰状・優勝杯を、準優勝校(団体)に表彰状・準優勝杯を、3位校(団体)に表彰状を授与する。
- (3) 各種目1位～3位の選手に表彰状を授与する。

10. 競技場使用について

- (1) ウォームアップ場は、補助競技場を原則とする。
- (2) 本競技場での練習は、許可された時間帯以外は認めない。
- (3) 選手・役員・補助員以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- (4) 本部前の通行は一切禁止する。(スタンド下通路・場外・バックスタンドのいずれかを利用すること)
- (5) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは各自で持ち帰ること。(競技場内にゴミ箱は設置していない)

11. 写真(ビデオ)撮影について

悪質な写真(ビデオ)の盗撮を未然に防ぎ、子供や選手をこれらの被害から守るために、大会中の撮影許可を下記の場合に限ることとする。

①大会運営本部より許可した報道関係者 ②大会出場校(団体)の指導者 ③大会出場選手の保護者

※撮影されている方に、上記に該当するか確認させていただく場合がある。

12. その他

- (1) 競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (2) 競技場内・周辺ではルールやマナーをまもること。
- (3) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各校(団体)の責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。(地域クラブ活動は除く)
- (4) **選手は競技場内にて、携帯電話・スマートフォン等の電子通信機器の使用・撮影を行わないこと。**
- (5) 選手は競技場内でのハンディファン等の電子機器を使用しないこと。
- (6) 競技場内での置き引きや盗難、また駐車場で事故・盗難等のトラブルについては一切責任を負わない。
- (7) 競技会当日、午前6:00に加古川市に気象警報(波浪以外)または防災気象情報レベル3以上が発表された場合、学校または自宅で待機する。その後の対応については、各市郡委員長に連絡し、市郡代表から出場校に連絡する。